

2026年度 慶應義塾大学 一般選抜

商学部 地理

I

【出題意図】

世界の工業化, 特にアジアにおける工業化を軸としつつ, 経済発展や産業構造の変化, 貿易・国際連携などに関する理解を問う問題としました。

【解答例】

I	問1		
	(1)(2)	27	BRICS
	(3)(4)	36	アジアNIEs
	(5)(6)	66	輸出指向型
	(7)(8)	62	ベトナム
	(9)(10)	52	世界の工場
	(11)(12)	33	ICT
	(13)(14)	63	ベンガルール
	(15)(16)	13	4分の3
	(17)(18)	37	イギリス
	(19)(20)	61	米国
	(21)(22)	57	日本
	(23)(24)	15	2~3
	(25)(26)	55	電気自動車
	(27)(28)	47	国際分業
	(29)(30)	23	AFTA
	(31)(32)	29	EC
	(33)(34)	46	共通の域外関税
	(35)(36)	35	RCEP
	(37)(38)	18	15
	(39)(40)	24	AIIB
	問2		
		あ	シリコンバレー
		い	マーストリヒト
	問3		ブミプトラ政策
	問4		エクメーネ
	問5		レグール
	問6		マキラドーラ

II

【出題意図】

大阪市の姉妹都市を題材として、系統地理とそれら都市が位置する国の地誌に関する基礎的な知識を問いました。世界で食料生産・供給の重要性を増していることを鑑み、主要産業の中でも農業に特に注目し、地域の特徴が理解できているかを問いました。

【解答例】

II	問1		
	(41)(42)	53	氷河湖
	(43)(44)	43	デイリーベルト
	(45)(46)	39 or 40	卓上地 or 楕状地
	(47)(48)	21	コーンベルト
	(49)(50)	15	企業的農業
	(51)(52)	22	穀物メジャー
	(53)(54)	42	直交路型
	(55)(56)	44	デトロイト
	(57)(58)	48	トロント
	(59)(60)	65	ムラート
	(61)(62)	20	コーヒー
	(63)(64)	37	大豆
	(65)(66)	34	セラード
	(67)(68)	54	ファベール
	(69)(70)	57	ブラジリア
	(71)(72)	56	武漢
	(73)(74)	17	経済技術開発区
	(75)(76)	33	西部大開発
	(77)(78)	63	淮河(ホワイ川)
	(79)(80)	25	小麦
	(81)(82)	26	米
	問2		適地適作
	問3		一国二制度
	問4		ブルーバナナ
	問5		リチウム

Ⅲ

【出題意図】

先進国や発展途上国における都市の現状や、都市と産業の関係などの幅広い内容を正しく網羅的に理解できているかを問いました。加えて、近年、人口減少や外国人労働者の増加などによって、日本のみならず世界的に都市問題が顕著になってきており、これらの現代的な課題を地理という科目を通して理解できているかを問いました。

【解答例】

Ⅲ	問1		
	(83)-(84)	11	CBD
	(85)-(86)	60	メトロポリス
	(87)-(88)	30	コナーベーション
	(89)-(90)	53	プライメートシティ
	(91)-(92)	16	インフォーマルセクター
	(93)-(94)	36	スプロール現象
	(95)-(96)	14	インナーシティ問題
	(97)-(98)	46	都市のスポンジ化
	(99)-(100)	35	ストロー効果
	(101)-(102)	22	エッジシティ
	(103)-(104)	19	ウォーターフロント開発
	(105)-(106)	49	パークアンドライド
	(107)-(108)	62	ヨハネスバーグ
	(109)-(110)	41	ダマスカス
	(111)-(112)	18	ヴァラナシ
	(113)-(114)	57	マスツーリズム
	(115)-(116)	26	グリーンツーリズム
	(117)-(118)	21	エコツーリズム
	(119)-(120)	38	世界遺産
	(121)-(122)	15	インバウンド観光
	問2		
	(123)	3	オーストラリア
	(124)	6	ブラジル
	問3		ラ・デファンス(ラ=デファンス)
	問4		セグリゲーション
	問5		ジェントリフィケーション
	問6		ビジット・ジャパン・キャンペーン